

HeartWarming SAGA

～人の想いに寄り添う施策～

「なかなか気づいてもらえないけど、こんな支援があったらいいな、助かるな。」

佐賀県は、そんな県民の皆さんの想いに寄り添いたと思います。

そのために、皆さんの声を大切に、これまでの支援をもっと拡充しました。

国の制度や施策にないものは、佐賀県独自で新しく創りました。

その一部をご紹介します。

困っている、悩んでいる、多くの方々の元に、お届けしたいと思います。

佐賀県



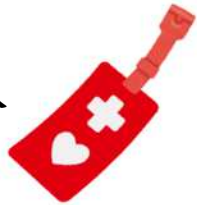
さがデザイン
さがをかえる しくみを考える

HeartWarming SAGA

～人の想いに寄り添う施策～

障 害

- ・軽度・中度難聴児補聴器購入支援
- ・命の72時間を守る非常用電源の購入支援
- ・ヘルプマークの導入と普及啓発
- ・医療的ケア児とそのご家族などを支援



がん・難病等

- ・子宮頸がん撲滅のためのHPV検査無料化
- ・がん患者のアピアランスケアを支援
- ・小児がん等の患者とその家族の交通費を支援
- ・人工呼吸器等を使用する難病患者家族のレスパイト支援を拡充 など

出産・子育て

- ・妊娠・出産・子育てをアプリで支援
- ・多胎家庭の困りごとに寄り添う支援
- ・新生児マススクリーニング検査に県独自で2疾患を追加など



さが現場の声と想いをつなぐ懇談会などで、医療・福祉分野の方々から現場の意見を聞いています

ひきこもりや若年性認知症など様々な困難を抱えている方の施策にも取り組んでいます



障 害

軽度・中度難聴児補聴器購入支援	・片耳難聴児や人工内耳装着児を含む全ての難聴児の補聴器購入費の助成
命の72時間を守る非常用電源の購入支援	・災害時に停電した場合、障害や慢性疾患などにより気管切開や人工呼吸器使用をしている方が、救助までの間の電源を確保できるよう、在宅生活者を対象に非常用電源の購入を支援
発達障害者への支援体制の充実	・「SKY～スカイ～」発達障害者就労支援センターの設置 ・発達障害のある子どもの成長を支援するためのペアレント・プログラムを開催
障害者を支えるボランティアグループ支援	・障害のある方やその家族などの想いに寄り添って、その生活を支えるために自発的に活動するボランティアグループに対しての支援
ヘルプマークの導入と普及啓発	・障害のある方が感じる様々な場面での不便や障壁の解消を図り、暮らしやすい社会づくりを促進するヘルプマークを導入
在宅での医療ケアを支援	・医療的ケア児等の在宅生活を支援 ・小児慢性特定疾病児童等介護者のレスパイト（休憩）を目的とした訪問看護師の派遣
医療的ケア児とご家族を支援	・在宅で生活する医療的ケア児の保護者等が在宅生活における困りごとや悩みごとを相談できる専門窓口「佐賀県医療的ケア児支援センター」を開設
障害者手帳アプリによる県有施設等の割引	・一部県有施設窓口において、障害者手帳（紙・カード型）の提示と同様の減免等が受けられる障害者手帳アプリの導入
地域における障害児支援の充実	・県と各児童発達支援センター等によるネットワークの構築 ・コーディネーターによる情報共有や連携した取組の検討

軽度・中度難聴児補聴器購入支援

問い合わせ先
障害福祉課

難聴で悩む子どもたちに補聴器購入費を
助成し言語習得や教育における
健全な発達を促進

H27～

「軽度・中度」の両耳難聴



R2～

- ・「片耳難聴」の子どもまで
対象を拡大
- ・「人工内耳体外機の更新費
用」、「FM補聴器の購入・
更新費用」を対象に追加

片耳では、
先生の言葉
がよく聞き
取れないわ



補聴器がある
と先生の言葉
もよく聞こえて
学習がはかど
りま～す



※FM補聴器
FMマイクから入る音を
電波にして、補聴器や
人工内耳体外機で受信
するシステム

18歳以下で補聴器等を装着している全ての子どもたちを支援



さがデザイン
さがをかえる しくみを考える

命の72時間を守る非常用電源の購入支援

問い合わせ先
障害福祉課、健康福祉政策課、こども家庭課

～生命維持のために自宅で
人工呼吸器等を使用している方の安全確保～

自宅で人工呼吸器を使用または気管切開により医療機器を
日常的に使用されている方の非常用電源の購入を支援

予備
バッテリー

非常用電源

救助 → 電源確保

停電発生

24時間

72時間

救助が来るまで、
バッテリーの電気が
足るか心配・・・



なぜ72時間？

大災害の発生直後の3日間は
公的支援が届かないおそれあり

災害発生時から救助が
来るまでの間をつなぐ！



さがデザイン
さがをかえる しくみを考える

発達障害者への支援体制の充実

問い合わせ先
障害福祉課

対応の仕方を相談
したいけど、相談で
きるところが近くに
ない...



わが子の就労の相談
をしたいけど、どこへ
行けばいいの？



子育てに
自信が
持てない。



発達障害の専門相談窓口の充実

○東部発達障害者支援センター「結（ゆい）」【鳥栖市】



増設

○西部発達障害者支援センター
「蒼空（そら）」【多久市】(H29～)

○発達障害者就労支援センター
「SKY（スカイ）」【佐賀市】(H30～)

アドバイスがもらえて、適
切なところに
つないでもらった。



発達障害について学べる環境の充実

○ペアレント・プログラムの開催 (R2～)

※各圏域の児童発達支援センターで開催

「ペアレント・プログラム」とは・・・

発達障害やその傾向にある子供をもつ保護者や、子育てに難しさを感じる保護者が、
子供の「行動」の客観的な理解の仕方を学び、楽しく子育てに臨む自信を身につけるこ
とを目的としたグループ・プログラム

発達障害のことが
理解でき、子育てが
楽しくなった。



障害者を支えるボランティアグループ支援

問い合わせ先
障害福祉課

障害のある方やその家族などの想いに寄り添って、その生活を支えるために
自発的に活動するボランティアグループに対して支援を行います。

一緒に活動してくれる人
を増やしたいな...



費用がかさんで会費
だけでは厳しいな...



01 補助金

【対象経費】
報償費、交通費、消耗品費、
使用料・賃借料等
【補助率】
10/10(上限10万円)

02 グループ間連携

活動報告会や交流、情報発信
などを県がお手伝いします

03 活動への県職員の参加

みなさんの活動に県職員も参加
させていただきます

一緒に考えましょう!



ありがとう!



ヘルプマークの導入と普及啓発

ヘルプマークとは？

外見からは分からなくても援助や配慮が必要な方が周囲の人にそのことを知らせることで、援助を得やすくするマーク



交付対象者

援助や配慮を必要としていることが外見から分かりにくい方

例：義足・人工関節を使用している方、内部障害のある方、難病の方、知的障害・精神障害・発達障害のある方、妊娠初期の方、認知症の方 等



交付窓口

県障害福祉課、各保健福祉事務所、県難病相談支援センター、市町、
JR佐賀駅・JR鳥栖駅・JR新鳥栖駅・JR唐津駅・JR武雄温泉駅・JR嬉野温泉駅・JR肥前鹿島駅

在宅での医療ケアを支援

問い合わせ先
こども家庭課・障害福祉課

人工呼吸器などの医療的ケアを必要とする子どもを
介護する家族のレスパイト（休息）を確保します

○訪問看護師の派遣

訪問看護師が家族の
代わりに自宅で見守り
とケアを行います



○受け入れ体制の整備

受け入れ体制を整える短
期入所事業所等に対し、
体制整備費や機器購入
費等を補助します



毎晩眠れない。
たまにはゆっくり
休みたい…



きょうだい児の学校行事
や冠婚葬祭のとき、ひとり
にして出かけられない。
どうしよう…

久しぶりにゆっく
り休めたね!

手伝ってもらって
お出かけできた
ね!!



医療的ケア児とそのご家族を支援

問い合わせ先
障害福祉課

～医療的ケア児とそのご家族にきめ細かいサポートを～

県

佐賀県医療的ケア児支援センター

- ✓ 専門性の高いスタッフによる相談対応
(看護師、医療的ケア児等コーディネーター 等)
- ✓ 就園支援コーディネーターによる就園調整支援



LINE相談も

個別支援も含め
総合的に対応

様々な相談



医療的ケア児とそご家族

災害への
備えが
不安

仕事と育児を
両立させたい

支援

相談への助言、
勉強会等の開催

情報共有

地域の支援の現場



障害者手帳アプリによる県有施設等の割引

問い合わせ先
障害福祉課

～スマートフォン向け障害者手帳アプリ「ミライロID」を導入しました!～

①スマートフォンに「ミライロID」をインストール



- ◎ アプリのインストール後、障害者手帳の登録が必要になります。
- ◎ 登録には紙またはカード型の障害者手帳が必要です。

利用可能県有施設は13カ所（令和5年3月末現在）
民間施設等でも利用できるところが増えてきています！
利用可能施設や受けられるサービスの詳細については、
ミライロID公式サイト（<https://mirairo-id.jp/>）をご覧ください。

②利用可能県有施設等の窓口で提示



- ◎ 「ミライロID」を起動して、アプリのホーム画面を窓口で提示することで、障害者手帳の提示と同様のサービスを受けることができます。
なお、これまで通り障害者手帳をお使いいただくこともできます。

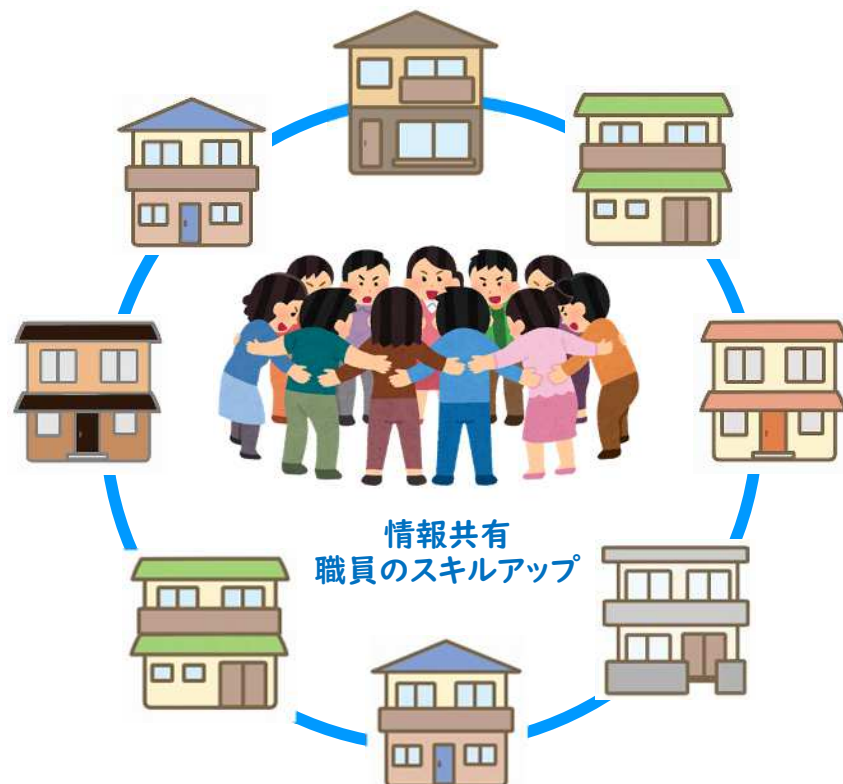


さがデザイン
さがをかえる しくみを考える

地域における障害児支援の充実

問い合わせ先
障害福祉課

県と県内すべての児童発達支援センターとの
ネットワークを構築し、連携を強化



各児童発達支援センター等の情報共有を行い、
地域の障害児支援の連携した取組の検討を行います。

地域における
支援体制の充実



一人ひとりの特性にあった適切な支援
を行い、障害児やその家族が暮らしや
すい地域を目指します。

がん・難病等

子宮頸がん撲滅のためのHPV併用検査無料化	・子宮頸がんの罹患率が高い年齢層のHPV（ヒトパピローウイルス）の検査費用を助成
未来へ向けた胃がん対策を推進	・県内の中学校及び特別支援学校に在籍する中学3年生を対象にピロリ菌検査を実施し、要治療の生徒の除菌治療費の自己負担分を助成
小児・AYA世代がん患者を支援	・小児・AYA世代がん患者へ妊孕性（にんようせい）温存治療費を助成 ・小児・AYA世代の末期がん患者へ在宅ケア費用を助成
がん患者のアピアランスケアを支援	・がん治療に伴う外見の変化に悩みを抱えるがん患者の心理的・経済的負担を軽減するため、医療用ウィッグ（かつら）や乳房補正具の購入費を補助
小児がん等の患者とその家族の交通費を支援	・やむなく遠方の医療機関での入院治療が必要な場合の患者とその家族の交通費を助成
骨髄等移植の円滑な実現の支援	・骨髄移植又は末梢血幹細胞移植で造血幹細胞の提供を行った方、またその方を雇用等する事業主に対して、提供に要した日数に応じて助成金を支給
難病患者家族のレスパイト支援を拡充	・人工呼吸器や吸引器等を使用する難病患者の介護者がレスパイト（休息）できるよう一時入院できる医療機関を確保することに加え、自宅に訪問看護師を派遣する



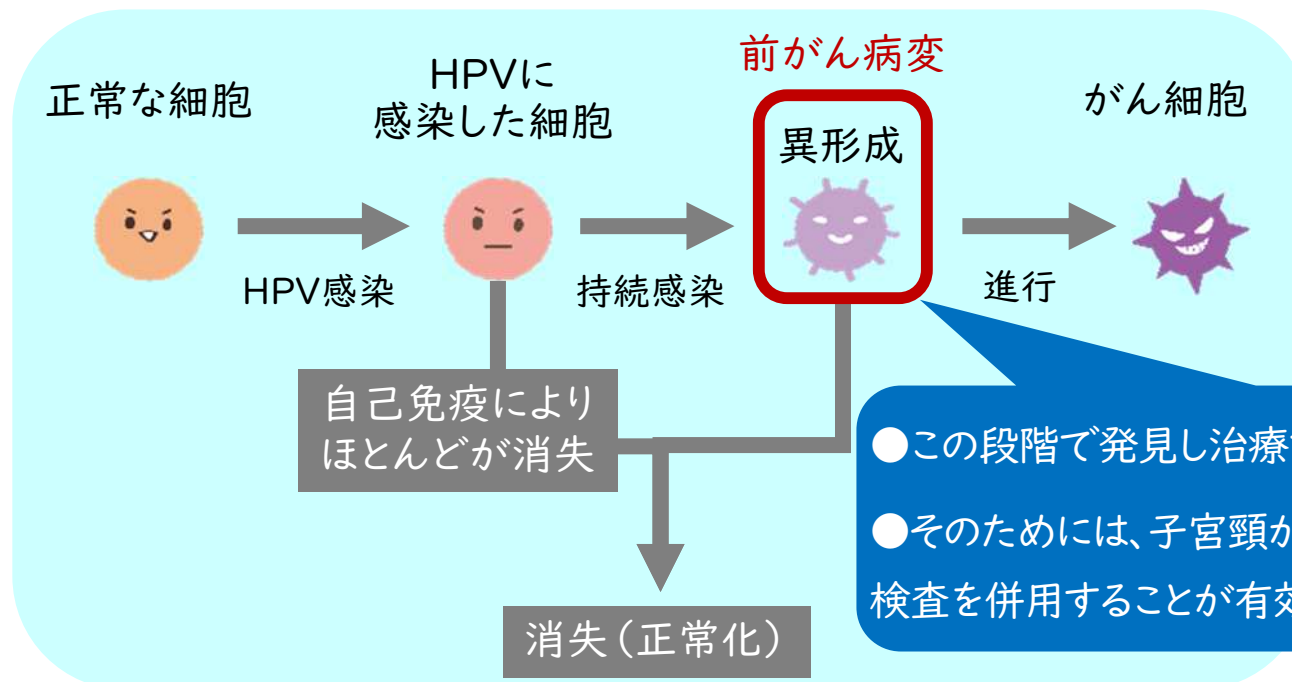
子宮頸がん撲滅のためのHPV検査無料化

問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～子宮がん死亡率ワーストからの脱却～

市町が実施する子宮頸がん検診において、子宮頸がんの罹患率が高い年齢層（30歳から44歳まで）のHPV併用検査費用を無料化

⇒全県下でHPV併用検査を無料化することにより
子宮頸がんの撲滅を図る



- この段階で発見し治療できれば、子宮の温存も可能
- そのためには、子宮頸がん検診（細胞診検査）にHPV検査を併用することが有効

ほっとかないで、
ほっとしよう。

女性のがん検診が、
とっても受けやすくなっています。

佐賀県は、女性のがん検診受診を推進しています。

未来へ向けた胃がん対策を推進

問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～佐賀の子どもたちの将来へのプレゼント～

県内の中学校に在籍する3年生を対象に、
胃がんの約8割※の原因とされるピロリ菌の
検査、除菌を全額県の負担で実施

※世界保健機関(WHO)報告書(2014年)で発表

⇒将来の胃がんリスク低減へ



こどもたちの
将来の
胃がんリスクを
取り除きたい!

中学校の健康診断で行われる尿検査の
残りの尿を使って検査（保護者の同意が必要）



小児・AYA世代※がん患者を支援

問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～若年がん患者が希望を持ってがん治療できるように～

妊孕性（にんようせい）温存治療費の助成

がん治療により失われる可能性のある妊娠する力を
事前に温存できるよう支援

（初回の凍結保存時に43歳未満の方が対象）



がん治療で、
将来、赤ちゃんが産め
なくなりそうで不安...

温存後生殖補助医療費の助成

事前に温存した卵子や精子等を用いて生殖補助
医療を受けられるよう支援

（治療期間の初日に妻の年齢が43歳未満の夫婦が対象）



妊孕性温存治療と
生殖補助医療がある
から、希望持って治療
ができる！

※AYA世代

…「Adolescent and Young Adult」の略。
15～39歳の思春期・若年成人の世代を指す。

がん患者のアピアランスケア※を支援

問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～がんになっても安心して暮らすことのできる環境づくりを推進～

がん治療に伴う外見の変化に悩みを抱えるがん患者の心理的・経済的負担を軽減するため、医療用ウィッグ（かつら）や乳房補正具の購入費を補助

※アピアランスケア

がん治療に伴う外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア。



補助



1万円



補助



2万円

（県補助額を含む）



がんになっても、生き生きとした
社会生活を送るために



さがデザイン
さがをかえる しくみを考える

骨髄等移植の円滑な実現の支援

問い合わせ先
健康福祉政策課

～ドナーの経済的・精神的負担等を軽減し、骨髄等移植の早期実現へ～

造血幹細胞の提供者及び提供者を雇用等する事業主に対して、
入院等提供に要した日数に応じて助成金を支給する



※骨髄等移植：血液の病気（白血病等）になった場合の治療法の一つで、正常な血液（血球）をつくる細胞を移植するための方法である骨髄移植及び末梢血幹細胞移植のこと。

小児がん等の患者とその家族の交通費を支援

問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～小児がん等を安心して治療できる環境を整備～

遠方での治療に伴う経済的負担

小児がん等の治療では・・・

やむなく遠方の医療機関での入院治療が必要な場合があり、
家族の付き添いを要することから、経済的負担が大きい

【小児がん患者家族の悩み】

医療費以外の
出費が多い

経済的にも
精神的にも大変！



補助対象者

小児がん、小児慢性特定疾病（難病）の
患者及び付き添う保護者、兄弟姉妹

対象地域

県外（隣県を除く）

治療を受ける小児がん等の患者と
その家族の交通費を助成

難病患者家族のレスパイト支援を拡充

問い合わせ先
健康福祉政策課

人工呼吸器や吸引器等を使用する難病患者を
介護する家族のレスパイト（休息）を確保します



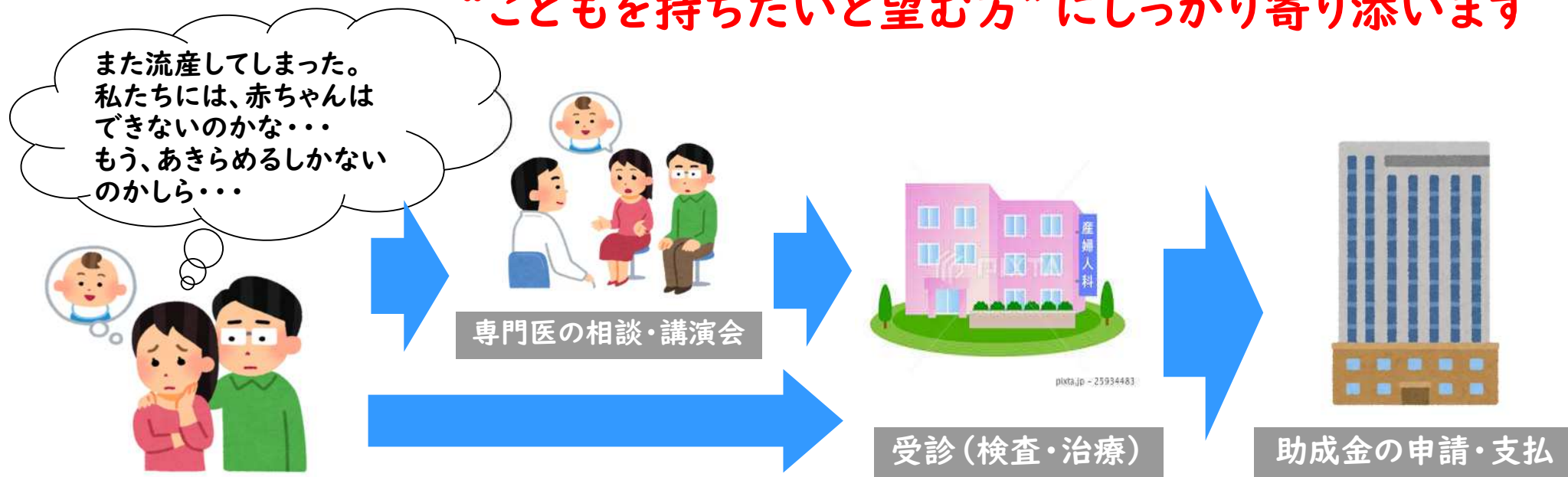
出産・子育て

不育症治療支援	・不育症に関する講演会や個別相談会を開催 ・検査や治療に必要な費用を助成
不妊治療（先進医療）支援事業	・保険適用による不妊治療に合わせて行う先進医療にかかる費用を助成
風しんの抗体検査・予防接種を無料化	・妊娠を希望される方などに、風しんの抗体検査や予防接種費用を無料化することで、先天性風しん症候群を予防し、安心して妊娠出産ができる環境を整備
多胎家庭の困りごとに寄り添う支援	・多胎妊産婦に妊娠から出産・育児まで切れ目のない支援 （多胎家庭等のサポート、ふたご・みつご子育て支援、子育て世代のパーキングパーミット支援）
子育てし大県“さが”タクシーの運行支援	・妊婦、こどもへのおもてなしの研修を受けたドライバーによるタクシー運行の支援
こどもの居場所づくりを応援	・「こどもの居場所」の運営等を行うCSO等に対する立ち上げサポートや企業等とのマッチング支援を行うことで、「こどもの居場所づくり」を応援し、支援を必要とする子育て世帯を支える
子ども・若者の育成を支援	・こども・若者が抱えるさまざまな困難の解決の糸口を一緒に探し、解決までの過程を一緒に見守る「佐賀県子ども・若者総合相談センター」を設置
妊娠・出産・子育てをアプリで支援	・子育て相談アプリ「mamari」を活用して、妊娠・出産・子育てについて切れ目のない支援を行う
新生児マススクリーニング検査に県独自で2疾患を追加	・新生児マススクリーニング検査に、佐賀県独自で2疾患追加し、公費助成を行い検査を受けられる環境を整備
SAGAPAPA育休アシスト奨励金	・県内事業所において、男性従業員が育児休業を取得する場合、奨励金を交付

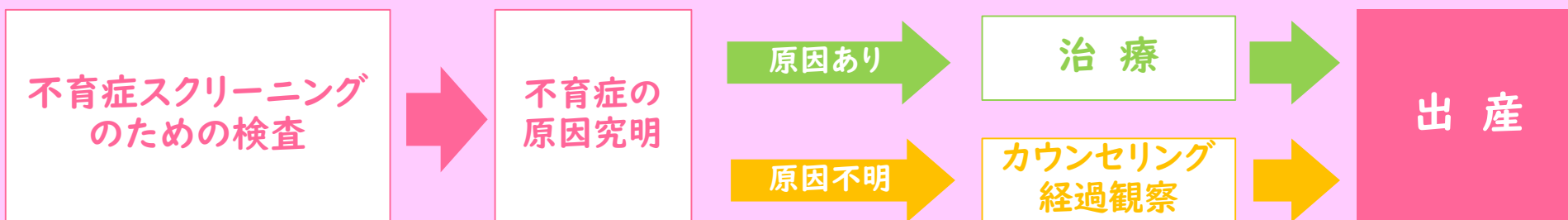
不育症治療支援事業

問い合わせ先
こども家庭課

“こどもを持ちたいと望む方”にしっかり寄り添います



検査・治療に係る医療費の助成を受けることにより



不妊治療（先進医療）支援事業

問い合わせ先
こども家庭課

“こどもを持ちたいと望む方”にしっかり寄り添います

不妊治療は
経済的にも
精神的にも
つらいなあ

R4.4から

不妊治療の保険適用開始



希望する治療をより受けやすく

先進医療費の助成

専門医相談の充実
対面+オンライン相談



さがデザイン
さがをかえる しくみを考える

風しんの抗体検査・予防接種を無料化

問い合わせ先
健康福祉政策課

～先天性風しん症候群の発生を予防し、安心して出産できる環境づくり～

妊娠を希望される方、風しん抗体価が低い妊婦の同居家族の方
の風しん抗体検査・予防接種費用を無料化

妊娠初期に風しんにかかると生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」になる可能性があるんだ。心配だな・・・

風しんの抗体検査・予防接種

【有料】



【無料】

風しんの発生を予防!!
先天性風しん症候群の発生を予防!!



さがデザイン
さがをかえる しくみを考える

多胎家庭の困りごとに寄り添う支援



問い合わせ先
こども家庭課、社会福祉課

赤ちゃんが、
同時に泣きだして困る！
やることがいっぱい……



○多胎育児経験者 によるピアサポート

アドバイスが
もらえて
助かった！



○多胎家庭への ヘルパー派遣

手伝ってもらって、
お出かけできた!!



民間団体と行政が連携した「アウトリーチ型の支援」

○子育てタクシー チケットを交付

・スムーズな外出を支援

○パーキングパーミットの 対象に

・こどもが1歳半になるまで

※それぞれの支援は、里帰り中の方も利用可能



さがデザイン
さがをかえる しくみを考える

子育てし大県 “さが” タクシーの運行支援

問い合わせ先
交通政策課地域交通システム室

子育てし大県 “さが” タクシーとは、
妊婦・こどもへのおもてなしの研修を受けたドライバーが運行する、
子育て世代に優しいタクシーです。

- チャイルドシートや防水シートを用意
- 保育園や学校、塾などにこどもを送迎後、保護者に電話で報告
など、ご要望に応じて、出産・子育てに特化したサービスをご提供します。

このステッカーが目印です！



○利用方法

①登録



最寄りのタクシー事業者に
事前登録

②予約



利用日が決まったら、
配車の連絡

③配車



指定の場所にタクシー到着

こども利用コース

放課後児童クラブや塾、習い事への送迎など

妊婦利用コース

運転しづらい妊娠中の通院や陣痛時に対応

親子利用コース

親子での外出時に、重い荷物の持ち運びなどを
サポート

是非、
ご利用ください

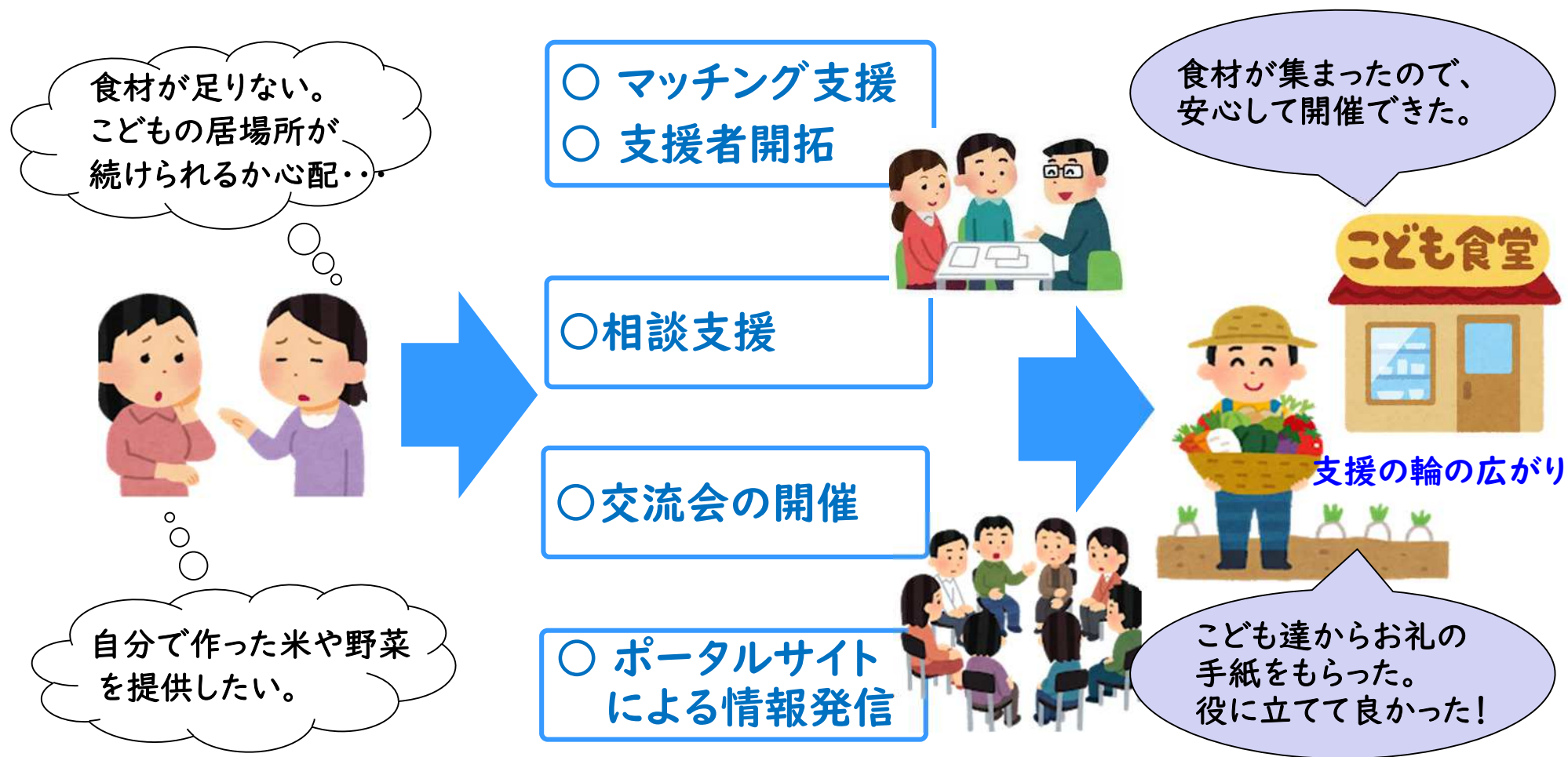


佐賀県子育て応援キャラクター
さがっぴい

こどもの居場所づくりを応援

問い合わせ先
こども家庭課

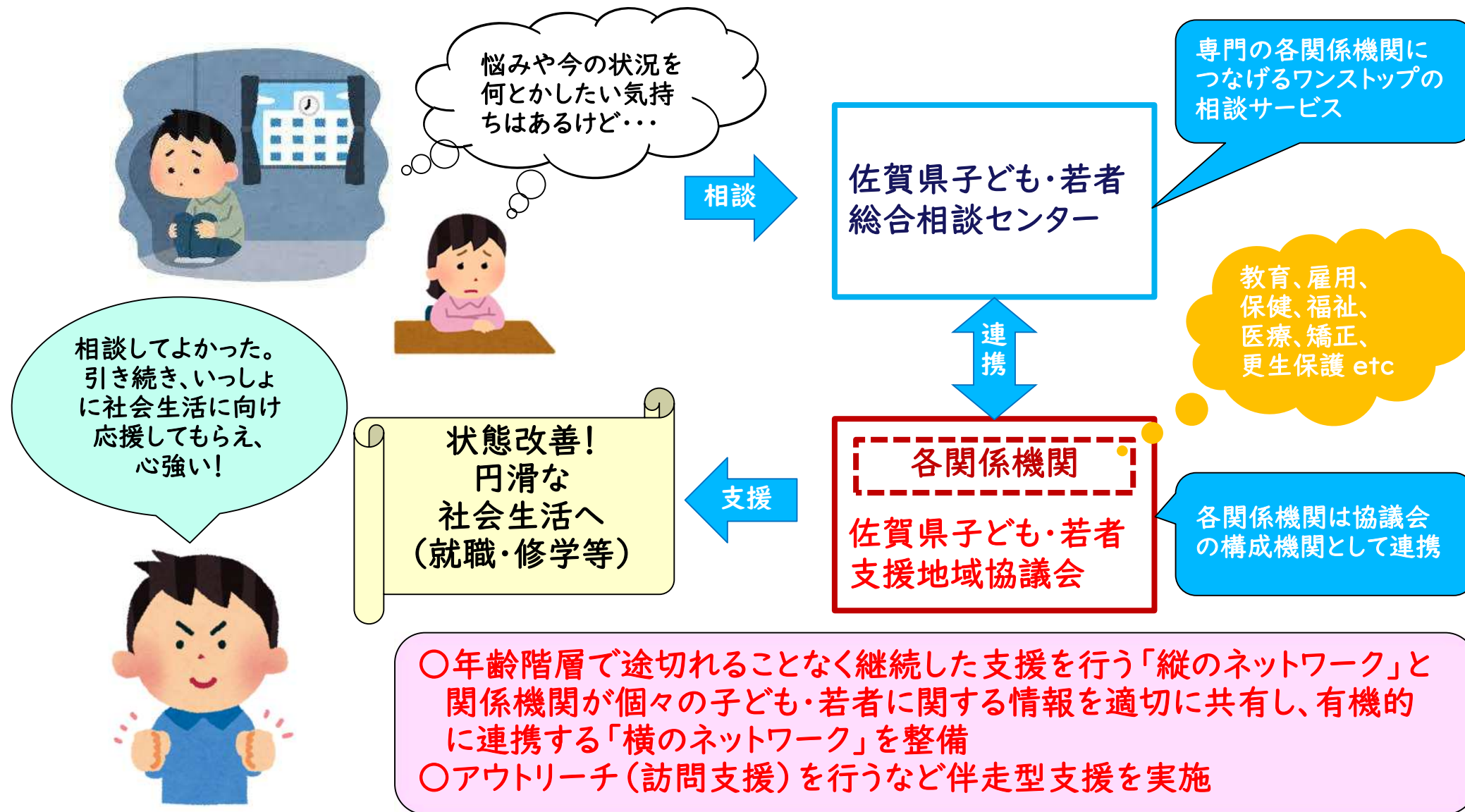
～ 居場所づくりの“志”と“寄り添いたい想い”をつなぐ ～



※ こどもの居場所とは、学習支援や食事、遊びの提供などを行う、地域のこどもたちのとりき木のような場

子ども・若者の育成を支援

問い合わせ先
こども未来課

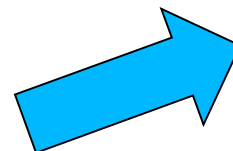
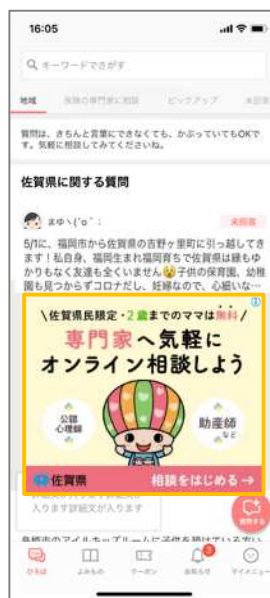


妊娠・出産・子育てをアプリで支援

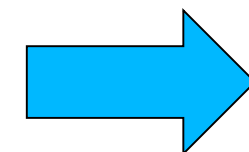
問い合わせ先
こども家庭課



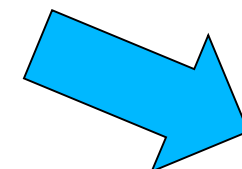
なんだか気が減入って、どうしたらいいのかわからない。誰に話したらいいんだろう。



同じことで悩んでいる人がいる。私だけじゃないんだ。安心した。みんな優しく励ましてくれる。



出かけるのは難しいし、専門家にオンラインで相談できて助かった。専門的な助言を受けられて安心した。



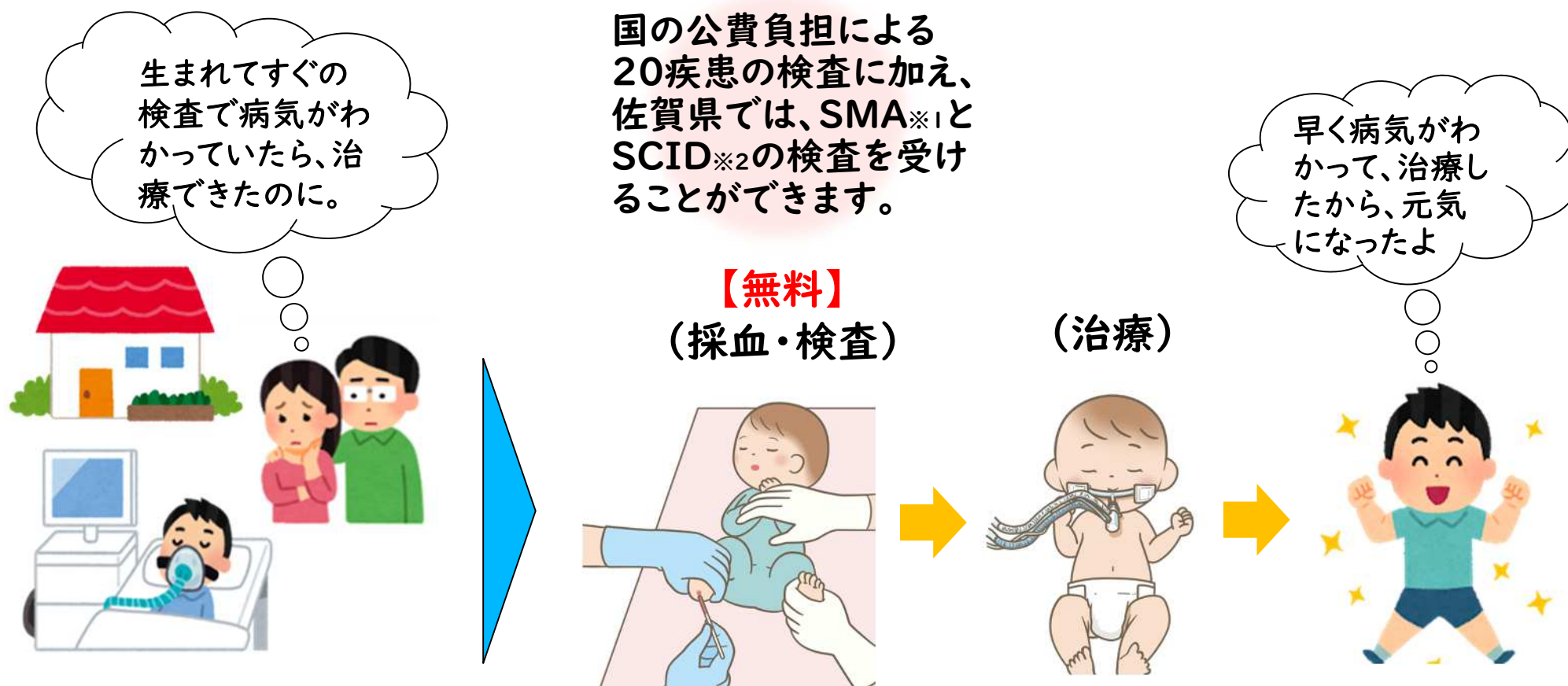
身近な役場の保健師さんに相談できて、引き続き支援してくれて助かった。

子育て相談アプリ「mamari」を活用して、妊娠・出産・子育てまで切れ目ない支援をしています

新生児マススクリーニング検査に県独自で2疾患を追加

問い合わせ先
こども家庭課

現行の20疾患の検査に、検査方法・治療法が確立している希少難治性疾患を追加し、早期発見・早期治療により“救える命を救い”、こどもの健やかな成長を促す



※1 SMA: 脊髄性筋萎縮症

※2 SCID: 重症複合免疫不全症

SAGAPAPA育休アシスト奨励金

問い合わせ先
男女参画・女性の活躍推進課

県内事業所において、
男性従業員が育児休業を取得する場合、奨励金を交付！

共家事・育児を応援！

男性の育休取得が進みづらい理由
「職場の雰囲気・理解不足」
「収入減少の不安」など



- ・男性労働者に通算14日以上の子育休取得させた事業主に奨励金を支給
- ・男性労働者に育児休業給付金とは別に手当等を支払った事業主に奨励金を支給

事業主には

定額20万円（1回限り）

※同僚への手当や人材確保に係る経費等に活用可



育休取得者には

最大3千円／日（対象者1名につき28日目まで）

※育休取得者に収入補填の手当を支給した事業主に交付
※国の出生後休業支援給付金を受給した期間は対象外



様々な困難を抱えている方

予防接種の再接種費用を助成	・子どもたちが十分な免疫を獲得し、感染症へのり患の心配なく生活できるよう造血細胞移植後の予防接種の再接種費用を助成
こどもの声を聴き、意見することをサポート	・一時保護所や児童養護施設などで暮らすこどもたちの声を、アドボケイト（第三者である支援員）が聞き取り、こどもが意見を表明することを支援
ヤングケアラー 専門相談ダイヤル	・本来大人が担うような家族の介護や家事などをこどもが日常的に行わざるを得ない状況にあるこどもやご家庭のいろいろな悩み事について、経験豊かなスタッフが継続的にサポートを行う。
困難を抱える妊婦を支援	・若年の妊婦や精神疾患を有する妊婦等特定妊婦に対して妊娠から出産までの間安心して過ごすことができる環境を作るため、相談支援、生活指導及び居場所の提供等を実施
ひきこもり地域支援センターの設置	・「さがすみらい」ひきこもり地域支援センターを設置し、全年齢層を対象にワンストップでの相談支援
若年性認知症の人・家族の安心につなげる支援	・支援センターを県在宅サポートセンターに開所し、若年性認知症に関する相談や医療・福祉・就労等を総合的に支援
児童思春期の精神科医療の充実	・児童思春期専門病棟における専門医による入院患者の緊急時対応および看護体制の充実
人工透析患者の通院を支援	・透析医療機関による「透析患者送迎サービス」経費の一部助成 ・福祉有償運送サービス利用料の割引
性暴力被害者への支援	・性別にかかわらず被害にあったすべての人にとって相談しやすい環境を整備

想いをつなぐ

さが現場の声を大切に、 想いをつなぐ	・様々な困難を抱える県民一人ひとりが安心して暮らしていくために、広く現場の声や地域で眠っている声を聴く場を設置
-----------------------	---

予防接種の再接種費用を助成

問い合わせ先
健康福祉政策課

造血細胞移植後の
予防接種の再接種費用



対象者全員、全額補助

免疫が無くなって、
これからの病気が
心配だけど...

再接種で免疫が
戻ったから安心!!

【無料】

(定期予防接種)

(小児がん等)

(造血細胞移植)

(再接種)



免疫獲得



免疫消失



免疫獲得

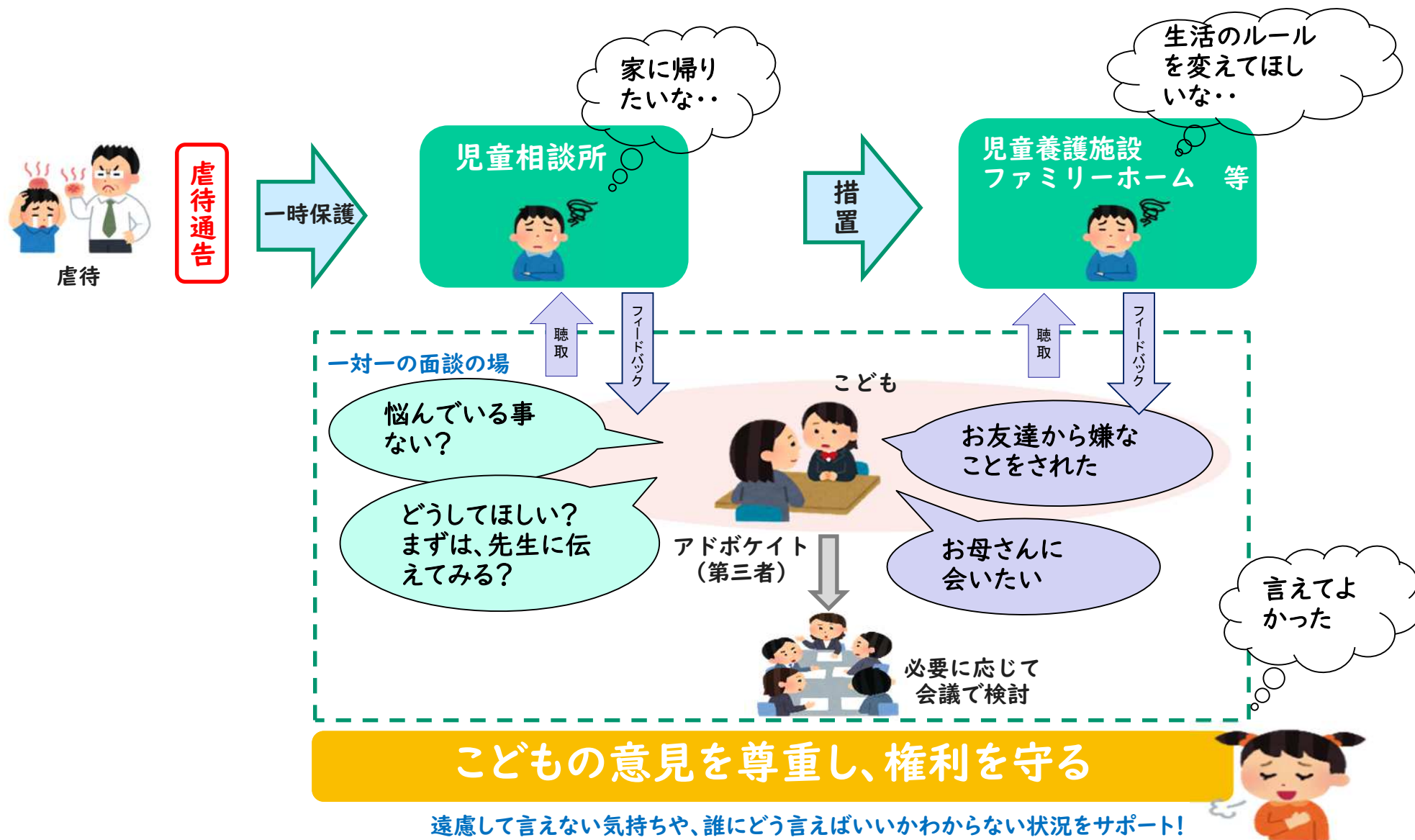


【有料】 ➡ 【無料】

こどもの声を聴き、意見することをサポート (こども意見表明支援(こどもアドボカシー))



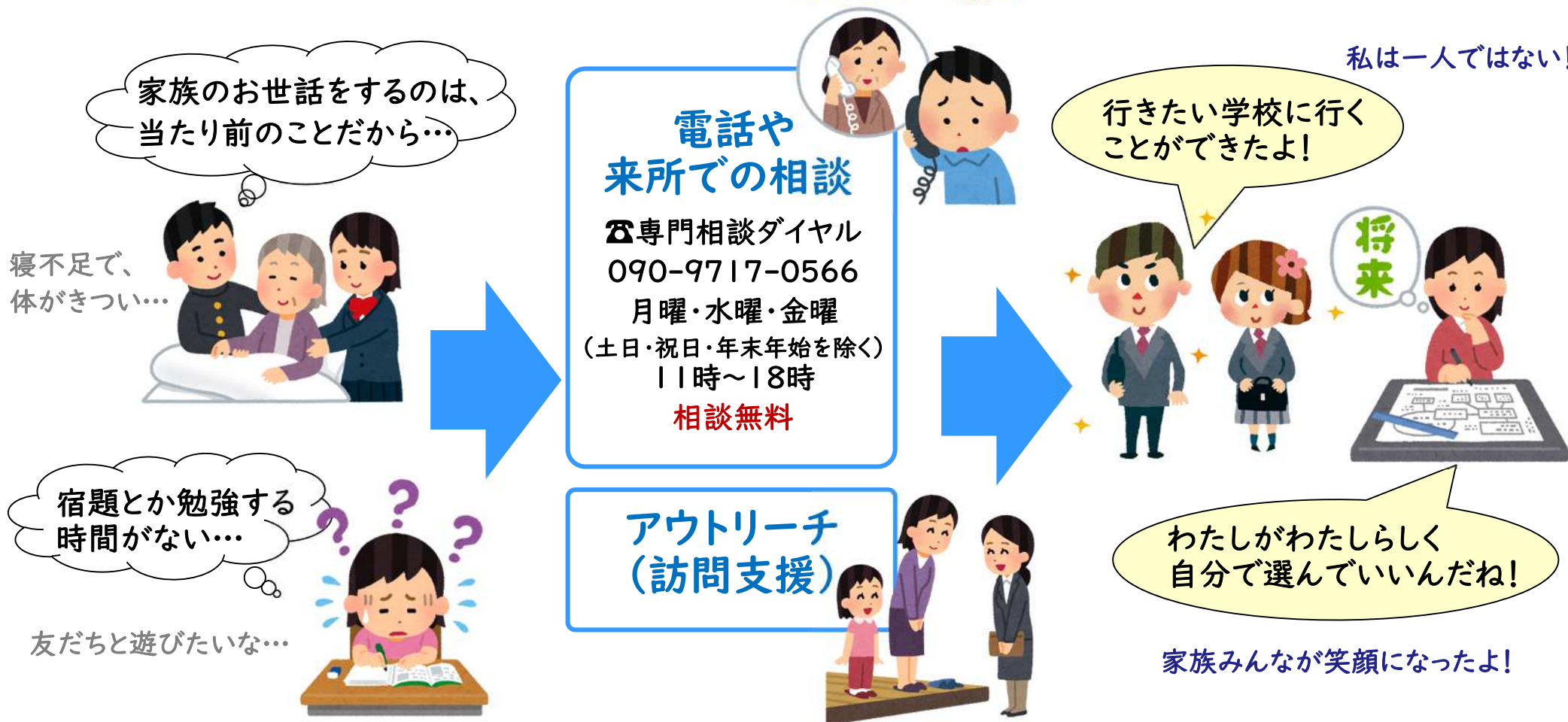
問い合わせ先
こども家庭課



ヤングケアラー専門相談ダイヤル

問い合わせ先
こども家庭課

あなたの大切な家族のお世話をしていることは素晴らしいことです。
でも、困ったり苦しかったりしたら、あなたと一緒に考える大人がいます！



※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

困難を抱える妊婦を支援

問い合わせ先
こども家庭課

思いがけない妊娠で悩んでいませんか？
～妊娠・出産の悩み、一人で抱えこまないで～



相談
無料

「ましゅまろネット」にご相談ください。
助産師など専門職員がサポートします！
電話 0120-095-991

月～金 9:00～17:00
※祝日、12/29～1/3を除く

LINE 24時間365日受付

秘密厳守

匿名OK



居場所がない方のために居室を提供しています。
家事や子育てを学びながら生活します。

対象：産前3か月から産後退院した日から2か月まで
※市町に特定妊婦として登録のある方

ひきこもり地域支援センターの設置

問い合わせ先
障害福祉課

ひきこもりの状態を何とかしたいけど どこに相談していいのか……

全年齢層対象。
状況に応じて適切な支援機関へつなぎます。

愛称“さがすみらい”

経験豊富なコーディネーターによる
アウトリーチ型の訪問・相談支援

就労や自立等、
心配事を聞いて
もらえて少しホッとした

自宅に来て、相談に
のってもらえるから
心強い!!

若年性認知症の人・家族の安心につなげる支援

問い合わせ先
長寿社会課

若年性認知症

65歳未満で発症する認知症

家庭や社会で中心的な役割を果たしている世代のため、本人だけでなく、家族の生活にも影響

(本人)
仕事を続けることができるか心配…

(本人・家族)
どこの病院を受診したらいいのかわからない



(本人・家族)
子供の学費や住宅ローンはどうしよう…

(家族)
親の介護と重なると負担が大きい…

若年性認知症支援
コーディネーターに
ご相談ください

一人で悩まなくて
よかった!

佐賀県若年性認知症支援センター

電話番号：0952-37-8545

相談時間：月曜日～金曜日 10時～16時（祝日・年末年始は除く）

相談方法：電話相談、来所相談、訪問相談

（来所相談・訪問相談は、事前にお電話にてご予約ください。）

※本人や家族だけでなく、医療福祉関係者や勤務先担当者の相談も可能です。

相談は無料です



児童思春期の精神科医療の充実

問い合わせ先
障害福祉課

～こころの問題を抱える子どもの精神科医療体制を強化～

こどもたちの抱える
こころの問題

不登校

発達障害

インターネット・ゲーム依存

自殺(未遂)

摂食障害



重症化

早期入院治療ができれば、
重症化を防止できる可能性も…

児童思春期専門病棟
(肥前精神医療センター)

職員配置の少ない平日夜間および休日の
入院医療体制を強化

- 専門医による入院患者の緊急時
対応の体制充実
- 看護体制の充実



たくさんの人に支援
してもらいました！



早期入院治療により
重症化せずに短期間で退院



さがデザイン
さがをかける しくみを考える

人工透析患者の通院を支援

問い合わせ先
障害福祉課

週3回の通院が大変・・・

送るのはいいけど
仕事とのやりくりが大変・・・

健康負担
経済的負担
家族の送迎負担

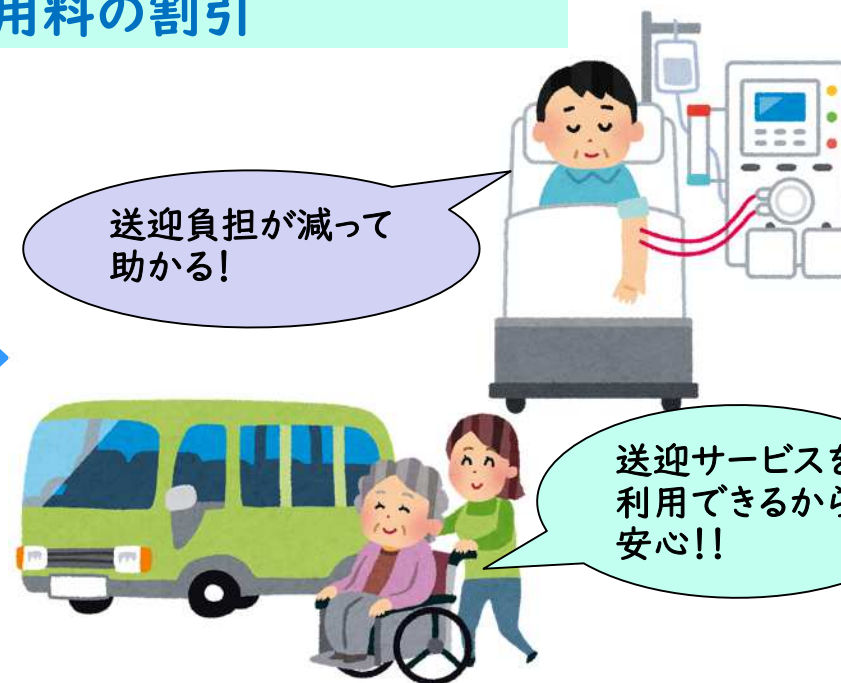
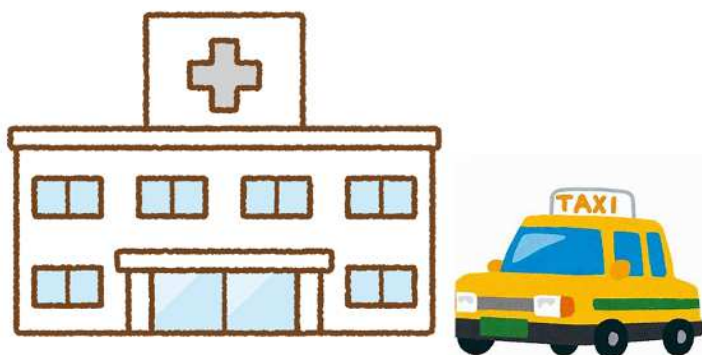
R6～

- ・県内医療機関の外来患者
送迎サービスの促進
- ・福祉有償運送サービス
利用料の割引

送迎負担が減って
助かる!

送迎サービスを利用できるから
安心!!

透析療法を続けながら、
住み慣れた地域で安心した生活



性暴力被害者への支援

問い合わせ先
男女参画・女性の活躍推進課

～性暴力被害者（男性・男児）への支援を拡充し、支援体制を強化～

性別にかかわらず被害にあった
すべての人にとって
相談しやすい環境を！

- 医療支援や心理的支援の拡充
- 広報、啓発

【被害者支援の内容】

性暴力救援センター・さが（さがmirai）※

	女性	男児 (15歳以下)	男性 (16歳以上)
相談支援	○	○	○
医療支援 (診察・検査等)	○	○	◎
心理的支援	○	◎	◎

※佐賀県医療センター好生館内
○従来から実施

↓
R7年1月から拡充

相談しやすい環境を整備し、
被害者の潜在化を防ぐ



加えて・・・

さがmirai（拠点病院）に専任の相談員を配置
被害者支援のアフターフォロー（同行支援等）を強化します

さが現場の声を大切に想いをつなぐ

問い合わせ先
健康福祉政策課

医療・福祉の第一線で活躍する方々の声を反映する 「さが現場の声と想いをつなぐ懇談会」

福祉の現場は、いろいろな課題を抱えているんだ...

私たちの想いを県政に反映できないかなあ.....

医療現場もそうだよ...

自宅で人工呼吸器を使用または気管切開により医療機器を日常的に使用されている方の非常用電源の購入を支援

人生の最終段階の医療・ケアを本人、家族、医療・ケアチームと事前に話し合うプロセスの普及・啓発

私たちの声が、形になって、みんなの役に立ってる.....!!
よかった~~

現場の声と想いを
事業に反映



さがデザイン
さがをかえる しくみを考える